

部局名	総務企画部	所属名	情報管理課	所属長名	鈴木 秀樹	電話	483-1151 内線2450
-----	-------	-----	-------	------	-------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3637	事務事業名称	システム開発保守事業				短縮コード	経常	3637	臨時	3638	
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	10	情報管理費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等		八千代市電子計算組織管理運営規程							
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
市政業務の効率的な推進と市民サービスの迅速化を図るため、昭和62年に電算機 (汎用機) を単独導入し、各種行政事務のシステム化を進めた。以後、法制度改正への対応や市民サービスの向上のためのシステム開発・保守を計画的に推進してきた。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱 (章)	06	計画推進のために					
電子自治体の構築が要請される中、情報システムを活用した市民サービスの向上や行政事務の改善が進んでいる。また、制度の改正や地方分権による行政事務の増加などの理由により、新たなシステム開発、保守の要望が増えている。					大項目 (節)	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進					
					中項目	03	市民サービスの向上を図る行財政運営の確立					
					小項目 (施策)	01	効率的な行政運営の確立					
					細項目	04	電子自治体の推進					
					実施計画の計画事業							
計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	平成19年4月 ~ 平成20年3月		計画事業費	千円					

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	システム開発および、システム保守を要望する各課。(室、委員会等含む)						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成19年度に実際に行ったこと: 1. 電子計算組織利用計画書、システム変更依頼書、システム連絡票を受付けた (システム開発、保守の相談と要望を受付けた) 2. 各課の要望内容に基づく仕様の決定 3. システム開発、保守の実作業と作業後の検証を行い、要望各課が完了の確認をした ※平成20年度に計画していること: 1. 共通基盤システム開発の検討 2. 平成19年度と同じ						
意図 (何を狙っているのか)	業務の効率化、簡素化と経費削減、市民サービスの向上、法制度改正などに対応するために、各課から要望されたシステム開発、保守を計画に基づいて、効果的に執行する。						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	入力対象外						
区分	単位	18年度	19年度		20年度		
		実績	計画	実績	計画		
対象指標	指標1	システム開発、保守要望課の数	課	19	20	18	20
	指標2	システム開発、保守の依頼件数	件	376	400	413	420
	指標3						
活動指標	指標1	要望を受け開発、保守の検討をした課の数	課	19	20	18	20
	指標2	システム開発、保守の件数	件	371	400	411	420
	指標3						
成果指標	指標1	要望を検討できた課の割合	%	100	100	100	100
	指標2	依頼されたシステム開発、保守の完了割合	%	98.67	100	99.52	100
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3637	事務事業名称	システム開発保守事業		所属名	情報管理課			
	単位	18年度		19年度		20年度			
		実績	計画	実績	計画	計画			
事業費(A)	財源内訳	国	千円						
		県	千円						
		地方債	千円						
		一般財源	千円	62,223	86,240	89,692	30,547		
	その他	千円							
主な事業費の内訳		・情報処理業務委託(システムの運用、支援、管理) ・住民記録オンライン 他18システムの修正 61,262		・情報処理業務委託(システムの運用、支援、管理) ・住民記録オンライン 他19システムの修正 84,955		・情報処理業務委託(システムの運用、支援、管理) ・住民記録オンライン 他18システムの修正88,723		・情報処理業務委託(システムの運用、支援、管理) ・住民記録オンライン 他18システムの修正 29,636	
人件費(B)		千円	38,297.9	39,141	24,972	25,424.3			
トータルコスト(A)+(B)		千円	100,520.9	125,381	114,664	55,971.3			

3. 事務事業の評価(SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由		
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	業務課の要望に適切に対応することにより、市民サービスの向上と業務の効率が高まり、市政運営が円滑に進行することになる。		
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある			
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない			
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項			
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	法制度改正などが例年行われ、各業務課からのシステム変更依頼等が絶えない状況である。			
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない				
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	当業務は、市で行う基幹的な行政業務の効率的処理と、市民サービスのための事業である。また、各業務課が業務を遂行するための電算処理部分であるため各業務課の事業自体が民営化されない限り、民営化できない。			
	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない				
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	業務課の要望に対して協議のうえ電子計算組織の利用の適否を決定し、利用計画書等に基づき処理期日までに完了するもので、これまでと変わらない。			
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある				
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある			
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある			
		<input checked="" type="checkbox"/> 両方可能性はある			
		<input type="checkbox"/> 可能性がない			
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	現在汎用電子計算機システムを利用している多くの業務システムについては、C/Sシステムにおけるパッケージシステムが数多く販売されていることから、基幹情報の提供について共通基盤システムを構築しルール化した後(或いは並行して)にこれらのシステムを導入することにより、従来のシステム開発に必要なシステム設計協議等一連の開発業務に係わる業務課の作業負担を大幅に削減すると共に、業務に精通した事業者のパッケージシステムであることから運用・保守面における効率化やコスト削減が見込まれる。		
		<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用			
<input checked="" type="checkbox"/> IT化等業務プロセスの見直し					
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	共通基盤システムの導入に際して、既にC/Sシステムを導入している業務課や近々に導入予定の業務課等全庁的な開発体制を取る必要がある。また、情報管理課においては設計・開発等による導入経費が、C/Sシステム導入課においては情報連携に係わる部分のシステム改修費用が発生する。			
	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し				
	<input type="checkbox"/> 上記以外の方法				
		類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)
			2		実施主体(所管部署)
		<input checked="" type="checkbox"/> ある			
		<input type="checkbox"/> ない			

コード	3637	事務事業名称	システム開発保守事業			所属名	情報管理課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続			大型汎用電子計算機を利用した現在のシステムは、度重なる法制度改正や新たな制度の開始に伴う対応により、システムの老朽化や陳腐化傾向の状況にある。更に業務課の一部のシステムについては、処理の即時性・柔軟性・横断性に優れたC/Sシステム（クライアント・サーバシステム）に移行し、また、介護システムを始めとする新たな制度のシステムは当初よりC/Sシステムにより運用しており、システムを取り巻く環境は大きく変化している。これらの状況を踏まえ、本市の基幹システムをダウンサイジングすることにより、これまで以上に各業務課システム相互の迅速且つ横断的な情報連携が行え、電子自治体への柔軟な対応が確保できる環境に移行する必要がある。																					
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	共通基盤システムの導入により、システム資産・資源を可能な限り一元化することで、重複投資の排除、システム連携に係るコストの抑制、利便性の向上、各業務課のアプリケーションシステムにおける脱ベンダー化を図ることができる。なお、移行時においては、多額の経費が伴うが、中・長期的には経費の削減と成果の向上が多分に見込まれる。
		経 費																									
		削 減	不 変	増 加																							
成 果	向 上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
各課では、市民サービスの向上や、市民要望に効率的に短時間で対応したいため、電算システムの利用を希望し、システム開発、保守を随時行ってもらいたいとの要望がある。また、事務改善（事務処理時間の短縮、事務処理の整理等）に向けたシステム開発、保守についても随時対応してもらいたいとの要望が増加している。	

所属長コメント	八千代市第3次総合計画（第4期実施計画）と八千代市情報化基本計画（第2期推進計画）に「基幹情報システム検証事業」が掲載されたことにより、方向性が明確になっていくことにより、重要な事業と考えている。	
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続	導入にあたり費用対効果を検討した上で、共通基盤システムの導入により経費の削減を図るべき。